

ベトナム各地域（北部・中部・南部）の地理的、風土的、人材的特色について

岡山県ベトナムビジネスサポートデスク
グエン・ティ・タン・ニャン

【はじめに】

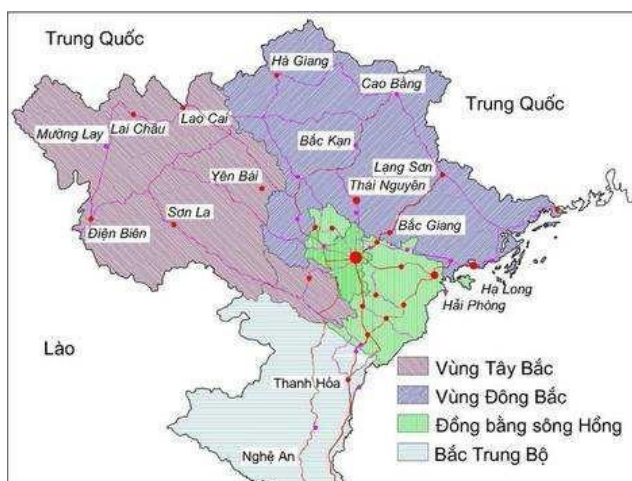
ベトナムはインドシナ半島の東南端（東経 102°8'~109°27'、北緯 8°27'~23°23'）にあり、面積は約 331,212 平方キロメートルです。北方は中国に、西方はラオス・カンボジアに、東方は南シナ海に、南方は Thai Lan 湾に接しています。ベトナムの陸地は「S」字の形をしており、南北の長さは約 1,650 キロメートルに及んでいます。

地理的、風土的、人材的な特徴により、ベトナムは北部、中部、南部の 3 つに分けられます。

このレポートでは、それぞれの特徴について概要を説明します。

【北部】

北部は東西に約 500 キロメートルあり、北方は中国に、西方はラオスに、東方は南シナ海に接しています。地形は複雑で、山岳、デルタ、海岸及び大陸棚を含みますが、西北から東南にかけてだんだん低くなり、西北部・東北部・紅河デルタ・北中部という 4 つの地域に分けられています。西北部は山岳があり、面積は約 10.29 万平方キロメートル（全国面積の 30.7%）です。東北部は低い山岳で構成されています。紅河デルタの面積は約 14,800 平方キロメートル（全国面積の 4.5%）で、南部にあるメコンデルタに次いで 2 番目に大きいデルタです。北中部は細長く、西はラオスに、東は南シナ海に接し、全土に沿って山岳が並んでいます。その他、南シナ海の海岸にある北部湾には約 3,000 の島があります。



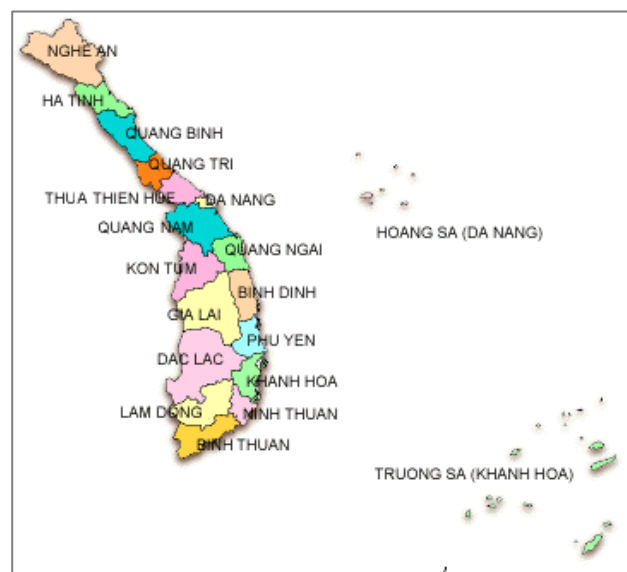
北部には 10 以上の国内航路及び 2 つの海外航路があり、世界各国との経済交流に便利です。また、政府事務所・重要な行政機関が集まっている北部は、ベトナムの政治・文化の中心です。

北部の気候はアジア大陸の影響を受けるため、年間を通じて気温はかなり高く多湿で、春夏秋冬の四季に分かれる熱帯モンスーン気候に属します。春（2月～4月）は一番過ごしやすい季節で、平均気温が 18 度～20 度です。夏（4月～9月）は蒸し暑くて気温がかなり高く（27 度～34 度）、雨が多いです。6 月、7 月、8 月に西南から Phon という暑い風が吹くと日中の気温が 40 度に上がることがあります。また、5 月及び 8 月は雨が最も多い月です。秋（9 月～10 月）は晴天が多く、気温は 24 度～28 度です。冬（11 月～2 月）は冷たい東北モンスーンが吹き、気温が 15 度～17 度で、乾いた気候になります。雪は降りませんが、北部の北の地方は時々非常に寒くなることがあります。霧・曇りが多いことも、北部の気候の特徴です。年間降水量はおよそ 1,700mm～2,400mm で、熱帯低気圧は年に 6 回～10 回発生し、洪水や旱魃の発生の原因となります。

北部はベトナム文化の発祥の地だと考えられており、過去に多くの諸侯・王朝が集まったところでした。北部の人は落ち着きがあり、秘密主義で、文化・芸術を愛すると言われます。北部の人は南部の人と比べると、ただ経済的発展を求めるのではなくどんなに忙しくてもゆったりとした生活を好みがちです。自己主張は強いですが、内向的な性格であり、家族や礼儀を重視します。また、学識を重視し、学問への投資を好む傾向があります。

【中部】

中部は細長い姿をしており、西側に沿った山脈及び南シナ海に囲まれて、東西方向の最も狭いところは 50 キロメートルしかありません。中部は北中部、Tay Nguyen 及び南中部の 3 つの地域に分けられています。北中部はラオスとベトナムの国境線に接する山脈を含みます。Tay Nguyen は西方及び南中部の西にあり、地理は多様かつ複雑ですが、主として高原及び高山（250～2500 メートル）からなります。南中部には海岸沿いの平野及び低山の 2 つの地形があり、特徴として



は短くて急な河川、深く入り組んだ海岸、狭い大陸棚などがあげられます。一般的には、中部の地理は西から東にかけて低くなっています。また、メコン河流域諸国及び世界各国と結び付く戦略的道路が多くみられます。

中部の気候は北中部及び南中部沿岸地域の2つの地域に分けられています。北中部は北部と違い、冬と夏という2つの季節しかありません。冬は水蒸気を含む風が吹いてきて、空気は冷たく、雨が多いです。一方、夏は西南から Phon 風が吹いてくるため湿気が少なく、空気が暑く乾いて、気温40度以上に上ったこともあります。南中部沿岸地域は一年中暑いため、雨季と乾季に分けられています。雨季は8月から12月、乾季は1月から7月となっています。乾季は降水量が少ないため、旱魃が起こりやすい一方、雨季の平均降水量は2,500mmで、全国一多いため、頻繁に洪水が起こります。中部の気候は北部および南部と比べて自然災害が多く、大変厳しい環境といえます。

厳しい自然条件は中部の人の性格にも影響を与えています。中部の人は忍耐強く、勤勉かつ儉約家で有名です。中部の人には学問で高い成績を上げる人が多いです。

【南部】

南部はドンナイ川の下流およびCuu Long川で囲まれています。西方はカンボジアに接した沖積地です。地理的特徴としては平坦で、山がほとんどありません。ここに一番大きいデルタ（面積は4,000,000ヘクタール）があります。東南は広い南シナ海に面しており、100~200メートルの玄武岩・古沖積土地域です。

南部は赤道熱帯モンスーン気候のため、湿気が多く日照量が豊富です。北部及び中部と違い、1年中暑い気候にあり、最低気温はおよそ24度（12月~2月）、最高気温は40度以上に上ることがあります。南部の気候は雨季（5月~11月）及び乾季（12月~4月）に分けられています。年間の平均湿度は80%~82%で、降水量は966mm~



1,325mmです。ホーチミン市の隣接地域から西・西南にかけて地形が低くなりつつあり、降雨による浸食は熱帯性低気圧と共に大規模な洪水を起こします。

南部はベトナムの経済の中心と呼ばれています。南部の人の特徴としては活発、クリエイティブ、寛大、率直、頑健などが挙げられます。特に、寛大さや歓待好きなところは日常生活にも明らかに現れています。北部の人と違い、南部の人は外向的で、生活を楽しむ傾向があります。

【おわりに】

上記がベトナムの北部・中部・南部の地理的、風土的、人材的特色です。縦に細長い国土はそれぞれの地域で異なる風土を生み出し、その風土がそこに生活する人々の性格に少なからぬ影響を及ぼしていると言えます。北部のどちらかかという内向的な資質、中部の忍耐強さ、南部の開放的といった性格は地理的・風土的な特徴と無関係ではなく、それぞれの特徴はS字形のベトナムに多様性及び特色を作り出しています。